

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】

【リンクはご自由にお貼りください】

「結婚の自由をすべての人に」関西訴訟(大阪地裁)第 11 回期日

平成 31 年 (ワ) 第 1 2 5 8 号 「結婚の自由をすべての人に」訴訟事件

原 告 原告 1 外 5 名

被 告 国

## 原告ら代理人意見陳述

2021 (令和 3) 年 1 2 月 2 7 日

大阪地方裁判所第 1 1 民事部合議 1 係 御中

原告ら訴訟代理人

弁護士 三 輪 晃 義

今日陳述した第 1 5 準備書面と第 1 6 準備書面で私たちがどのような主張をしているかについて、概略を述べます。

札幌地裁判決は、日本で同性婚が明文の規定がなくても社会通念に照らして当然のこととして認められないと解されてきた背景理由として、同性愛を精神疾患であるとする誤った知見や同性愛者は社会通念に合致した正常な婚姻関係を築けないとする誤った考えがあったという考えを述べます。その考えに基づいて、同性どうしの婚姻を認めない現行法が平等原則に違反して違憲であるとの結論を導き出しました。それに対して、被告は、札幌地裁の理解は誤っていると主張しています。

しかし、被告の主張はどれも札幌地裁判決を曲解するものでの的確な批判ではありません。それに、被告が札幌地裁判決をどれだけ批判したとしても、同性婚を認めていない現行法の規定が合憲となるわけではありません。

実際にも、札幌地裁判決が指摘するとおり、明治民法が制定された当時も、現行民法が制定された当時も、同性愛が精神疾患であるとの誤った知見が背景事情として存在していました。

1869年にドイツの精神科医が同性愛は精神病であるとする見解を発表し、「同

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】

【リンクはご自由にお貼りください】

「結婚の自由をすべての人に」関西訴訟(大阪地裁)第 11 回期日

性愛の病理化」が欧米に広がりました。「同性愛の病理化」は 1891 年に日本にも輸入され、医学雑誌で紹介されるなどして、明治民法が制定された 1898 年以前から同性愛が精神疾患であるとする誤った知見が存在していました。この知見は、民法学者にも影響を与えていました。

また、現行民法の制定時を見ても、1946 年に出版された書籍で、同性愛は変態性欲であり、「知愚者、精神異常者又は色欲倒錯者などに多く見られる」などと記載されていて、「同性愛の病理化」は根強く残っていました。

このように、札幌地裁の理解は全く誤りではなく、被告による指摘はいずれも的外れであるといわざるを得ません。

以上が、第 15 準備書面の概要です。

第 16 準備書面では、同性どうしの婚姻が認められていないことによる権利侵害が重大であること、特に社会的承認を受けられないことの重大性について主張しています。

同性愛者らの自殺未遂リスクは相対的に高く、その背景には同性愛者らに対する社会の差別・偏見があるとの指摘がなされています。この状況を変えるためには、同性愛者らと異性愛者を平等に扱う法整備が必要です。

そして、婚姻という社会制度からの排除が、同性愛者らの存在を不可視化させ、同性愛者らに対する偏見や差別を助長しているといえます。同性パートナーシップ制度が広がっていることやこの裁判で原告の皆さんが立ち上がったことは、同性愛に対する寛容さを前進させることにはなりますが、偏見や差別を解消するためには十分ではありません。社会や同性愛者らの中に内在化している偏見や差別を解消するためには、同性どうしの婚姻を認めることが必要不可欠です。

被告は、日本では、同性間の人的結合関係を婚姻関係と同視し得るほどの社会的な承認が存在しないとして、現行法の規定が平等原則に違反しないと主張しています。しかし、社会的承認が存在しないからといって、現行法の規定が合憲といえるのでしょうか。むしろ、社会的承認が存在しないのなら、国は積極的に社会的承認

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】

【リンクはご自由にお貼りください】

「結婚の自由をすべての人に」関西訴訟(大阪地裁)第 11 回期日

を広げて、差別や偏見を解消していく義務を負っているのではないのでしょうか。

同性愛者らが尊厳を回復し、安心して生きていくためには一刻も早く同性どうしの婚姻が認められなければなりません。「いつか実現すればよい」と放置すれば、その日が来るまで、無数の同性愛者らが尊厳を奪われたままこの世を去らなければなりません。裁判所には、それを止める義務があるはずです。改めて、積極的な司法判断がなされることを求めます。

以 上